

Ⅲ 結果の概要

【学校調査】

1 総括

(1) 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

- ① 学校(園)数は、幼稚園が1,051園、小学校が1,367校、中学校が819校、高等学校が434校、高等学校通信制が13校、中等教育学校が8校、特別支援学校が69校、専修学校が431校、各種学校が168校となった。前年度と比較すると、ほとんどの学校種で減少した。
- ② 在学者数は、幼稚園が171,769人、小学校が592,192人、中学校が311,982人、高等学校が313,779人、高等学校通信制が14,255人、中等教育学校が5,319人、特別支援学校が11,592人、専修学校が142,547人、各種学校が23,029人となった。平成18年度から平成22年度まで5年連続で減少していた幼稚園園児数が今年度は増加し、平成13年度から平成22年度まで10年連続で増加していた小学校児童数が今年度は減少した。
- ③ 教員数(本務者)は、幼稚園が10,695人、小学校が31,877人、中学校が19,055人、高等学校が18,750人、高等学校通信制が306人、中等教育学校が444人、特別支援学校が5,723人、専修学校が7,733人、各種学校が1,662人となった。(表1、統計表1-1)

表1 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

(単位:校、園、人、%)

区分	学 校 (園) 数				在 学 者 数				教 員 数 (本 務 者)			
	平 成 23 年 度	平 成 22 年 度	対前年度 増 減 数	対前年度 増 減 率	平 成 23 年 度	平 成 22 年 度	対前年度 増 減 数	対前年度 増 減 率	平 成 23 年 度	平 成 22 年 度	対前年度 増 減 数	対前年度 増 減 率
幼 稚 園	1,051	1,057	△ 6	△ 0.6	171,769	171,273	496	0.3	10,695	10,705	△ 10	△ 0.1
小 学 校	1,367	1,370	△ 3	△ 0.2	592,192	595,669	△ 3,477	△ 0.6	31,877	31,447	430	1.4
中 学 校	819	822	△ 3	△ 0.4	311,982	309,247	2,735	0.9	19,055	18,749	306	1.6
高 等 学 校	434	435	△ 1	△ 0.2	313,779	313,183	596	0.2	18,750	18,672	78	0.4
高等学校通信制	13	13	0	0.0	14,255	16,624	△ 2,369	△ 14.3	306	311	△ 5	△ 1.6
中等教育学校	8	8	0	0.0	5,319	4,385	934	21.3	444	401	43	10.7
特別支援学校	69	68	1	1.5	11,592	11,145	447	4.0	5,723	5,613	110	2.0
専 修 学 校	431	446	△ 15	△ 3.4	142,547	141,767	780	0.6	7,733	7,616	117	1.5
各 種 学 校	168	171	△ 3	△ 1.8	23,029	28,285	△ 5,256	△ 18.6	1,662	1,643	19	1.2

注1) 高等学校で全日制又は定時制と通信制課程を併置している9校は、「高等学校」と「高等学校通信制」の両方に計上してある。

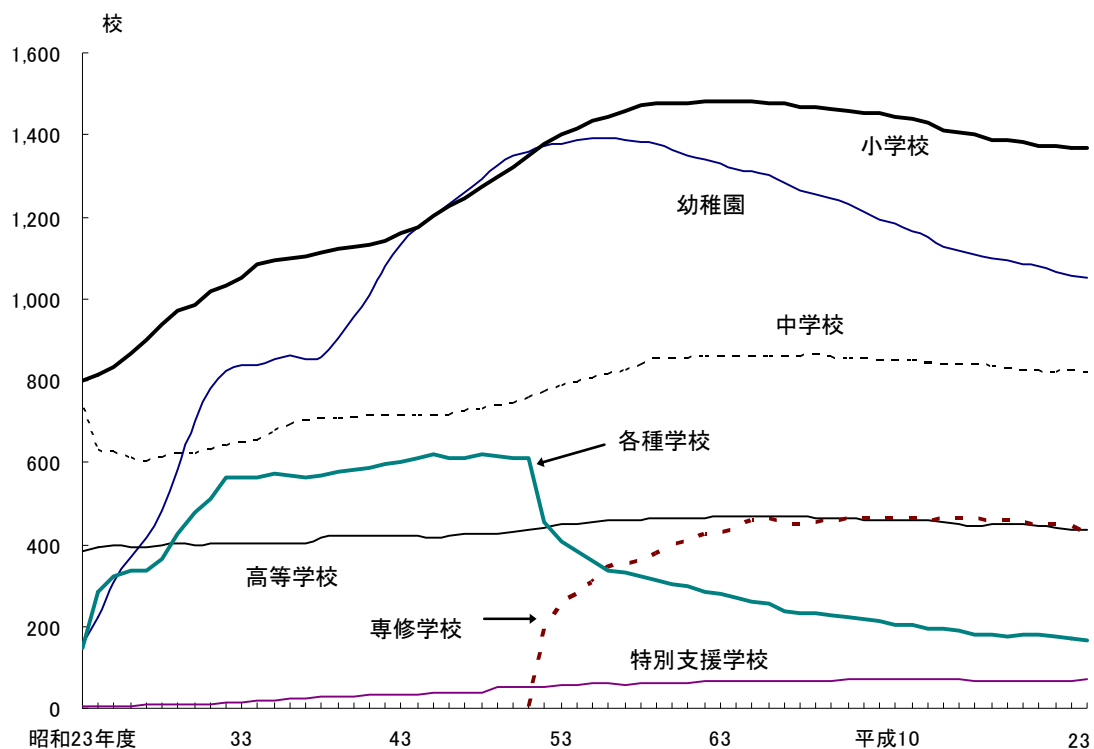
2) 高等学校及び中等教育学校の生徒数は、本科の人数で専攻科及び別科は含まない。

(2) 学校（園）数の推移

- ① 昭和 23 年度からの学校（園）数の推移をみると、幼稚園は昭和 23 年度に 157 園であったが昭和 55 年度に 1,390 園となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は 30 年連続して減少した。
- ② 小学校は、昭和 23 年度に 798 校であったが平成元年度に 1,482 校となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は 19 年連続して減少した。
- ③ 中学校は、昭和 23 年度に 732 校であったが平成 6 年度に 861 校となりピークを迎えた。その翌年度からは減少が続き、今年度はピーク時より 42 校減少した。
- ④ 高等学校は、昭和 23 年度に 382 校であったが平成元年度に 468 校となりピークを迎えた。その後は減少し、今年度はピーク時より 34 校減少した。
- ⑤ 特別支援学校は、昭和 23 年度に 6 校であったが平成 9 年度に 70 校となった。今年度は前年度より 1 校増加して 69 校となった。
- ⑥ 専修学校は、昭和 51 年度に制度が発足し当初は 5 校であった。平成 10 年度に 466 校となりピークを迎えたが、その後は増減を繰り返し、今年度はピーク時より 35 校減少した。
- ⑦ 各種学校は、昭和 23 年度に 149 校であったが昭和 45 年度に 622 校となりピークを迎えた。昭和 49 年度からは平成 19 年度を除き減少した。

(図 1、付表 I)

図 1 学校（園）数の推移（昭和23年度～平成23年度）



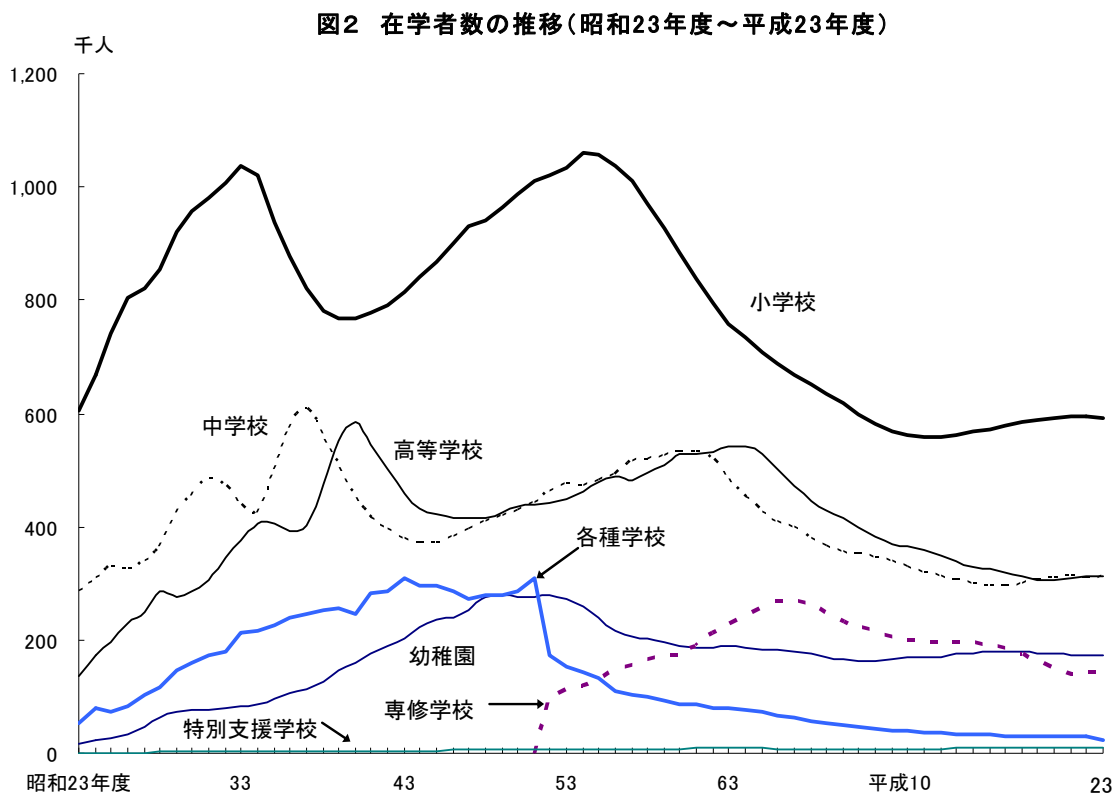
注1) 特別支援学校は平成18年度まで盲・聾・養護学校の合計である。

注2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(3) 在学者数の推移

- ① 昭和23年度からの在学者数の推移をみると、幼稚園園児数は昭和49年度の279,741人をピークにその後は増減を繰り返し、平成18年度から平成22年度までは5年連続で減少した。今年度はピーク時より107,972人減少した。
- ② 小学校児童数は、昭和54年度に1,060,176人のピークとなった。その後、平成12年度まで21年連続して減少が続いたが、平成13年度から平成22年度までは10年連続で増加した。今年度はピーク時より467,984人減少した。
- ③ 中学校生徒数は、昭和37年度にピークを迎え607,891人になった。その後、減少と増加を繰り返し、今年度はピーク時より295,909人減少した。
- ④ 高等学校生徒数は、昭和40年度に584,103人のピークとなったが、昭和47年度まで減少が続いた。その後は増減を繰り返し、今年度は3年連続して増加した。
- ⑤ 特別支援学校在学者数は、昭和23年度から昭和63年度まで増加したが、翌年から8年間減少し、平成9年度からは引続き増加している。
- ⑥ 専修学校生徒数は、制度が発足した昭和51年度には383人であったが、平成4年度に270,045人となりピークを迎えた。その後は平成14年度を除き21年度まで減少したが、今年度は前年度に引続き増加となった。
- ⑦ 各種学校生徒数は、昭和23年度に54,068人であったが、昭和51年度には310,131人のピークとなった。その後は昭和61年度と平成19年度を除き減少が続いており今年度も減少となった。

(図2、付表I)

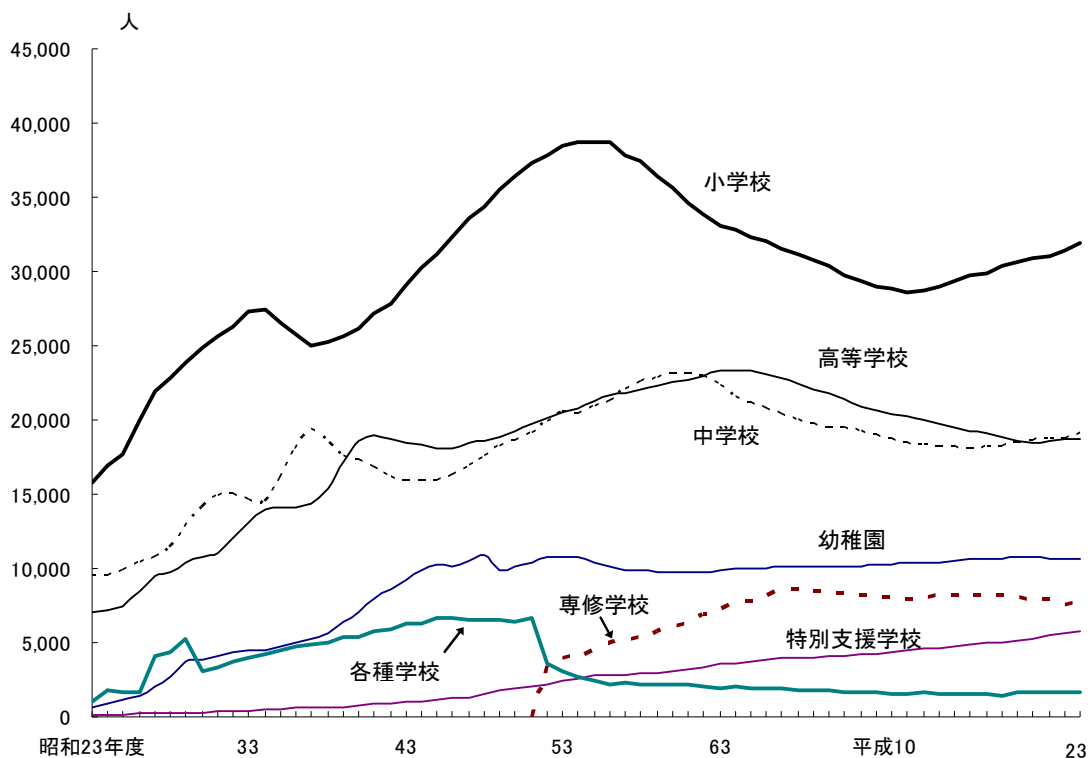


注1) 特別支援学校は平成18年度まで盲・聾・養護学校の合計である。
 2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(4) 教員数(本務者)の推移

- ① 昭和23年度からの教員数(本務者)の推移をみると、幼稚園は昭和48年度の10,886人が最多であったが、今年度は10,695人となった。
 - ② 小学校教員数(本務者)は、昭和55年度に38,676人となり最多であったが、翌年度から減少が続いた。平成13年度からは増加に転じ今年度は31,877人となった。
 - ③ 中学校教員数(本務者)は、昭和61年度に23,111人となり最多であったが、翌年度から平成16年度まで減少が続いた。その後、平成17年度からは増加し今年度は19,055人となった。
 - ④ 高等学校教員数(本務者)は、平成元年度に23,346人となり最多となった。その後、平成20年度まで減少が続いていたが、平成21年度以降は増加に転じて、今年度は18,750人となった。
 - ⑤ 特別支援学校教員数(本務者)は、昭和23年度から増加を続け、今年度は5,723人となった。
 - ⑥ 専修学校教員数(本務者)は、昭和51年度の制度発足時には18人であったが、平成4年度に8,589人で最多となり、その後、増減を繰り返し今年度は7,733人となった。
 - ⑦ 各種学校教員数(本務者)は、昭和23年度に1,006人であったが、昭和46年度に6,646人で最多となり、その後、増減を繰り返し今年度は1,662人となった。
- (図3、付表I)

図3 教員数(本務者)の推移(昭和23年度～平成23年度)



注1) 特別支援学校は平成18年度まで盲・聾・養護学校の合計である。
 2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(5) 長期欠席者数

【小学校】

- ① 長期欠席者数（前年度間に30日以上欠席した人数）は3,965人で、平成19年度間から4年連続して減少した。
- ② 平成22年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が49.7%、病気が25.8%を占めている。

【中学校】

- ① 長期欠席者数は9,126人で、平成21年度間に引続き減少した。
- ② 平成22年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が84.6%、病気が10.1%を占めている。

（表2、図4、統計表3-5、4-6）

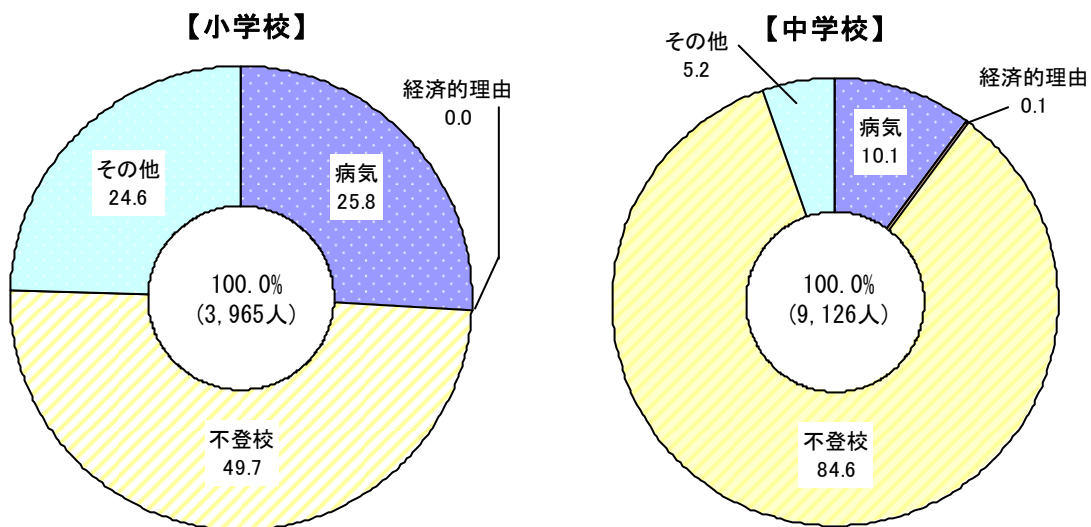
表2 長期欠席者数（小学校、中学校）

（単位：人、％）

区 分	平成12年度間	17	18	19	20	21	22	増減 対前年度間	構 成 比
小 学 校	5,688	4,226	4,383	4,329	4,227	4,107	3,965	△ 142	100.0
病 気	2,388	1,371	1,360	1,264	1,134	1,078	1,021	△ 57	25.8
経済的理由	9	7	13	1	5	4	1	△ 3	0.0
不 登 校	2,364	1,803	1,907	1,914	1,862	1,907	1,969	62	49.7
そ の 他	927	1,045	1,103	1,150	1,226	1,118	974	△ 144	24.6
中 学 校	9,857	8,933	9,738	9,789	9,882	9,391	9,126	△ 265	100.0
病 気	983	974	1,108	1,055	1,070	902	922	20	10.1
経済的理由	21	12	14	11	9	12	6	△ 6	0.1
不 登 校	8,378	7,429	7,869	8,009	7,899	7,747	7,720	△ 27	84.6
そ の 他	475	518	747	714	904	730	478	△ 252	5.2

注) 長期欠席者数内訳の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由で長期欠席した者の人数である。
また、欠席理由が2つ以上あり（例えば「病気」、「不登校」など）主たる理由を特定できない者の人数である。

図4 長期欠席者数の理由別内訳（平成22年度間）



(6) 卒業後の状況

【中学校】

- ① 中学校卒業生について平成13年度からの推移をみると、卒業生数は平成18年度まで連続して減少が続いていたが、平成19年度以降は増減を繰り返し今年度は前年度より減少した。
- ② 高等学校等への進学率は、98.1%で前年度より0.1ポイント上昇した。男女別では、毎年度女子が男子を上回っており、前年度に引続き今年度も0.4ポイント差となった。

【高等学校】

- ① 高等学校卒業生数の推移をみると、平成13年度から平成21年度まで減少が続いていたが、平成22年度は増加に転じ、今年度は引続き増加（微増）となった。
- ② 大学等進学率は依然上昇傾向にあり、今年度は65.5%で前年度より0.1ポイント上昇し、調査開始以来過去最高となった。男女別にみると、男子は61.6%で前年度より0.6ポイント低下し、女子は69.2%で0.8ポイント前年度より上昇した。男女を比較すると女子が男子を7.6ポイント上回った。
- ③ 専修学校専門課程への進学率は、平成22年度に引続き上昇して今年度は11.4%となり、前年度より1.0ポイント上昇した。
- ④ 高等学校卒業生の就職率は、前年度より0.2ポイント低下し5.6%となった。

(図5-1、5-2、5-3、統計表10-1、11-1)

図5-1 中学校の卒業生数及び進学率の推移

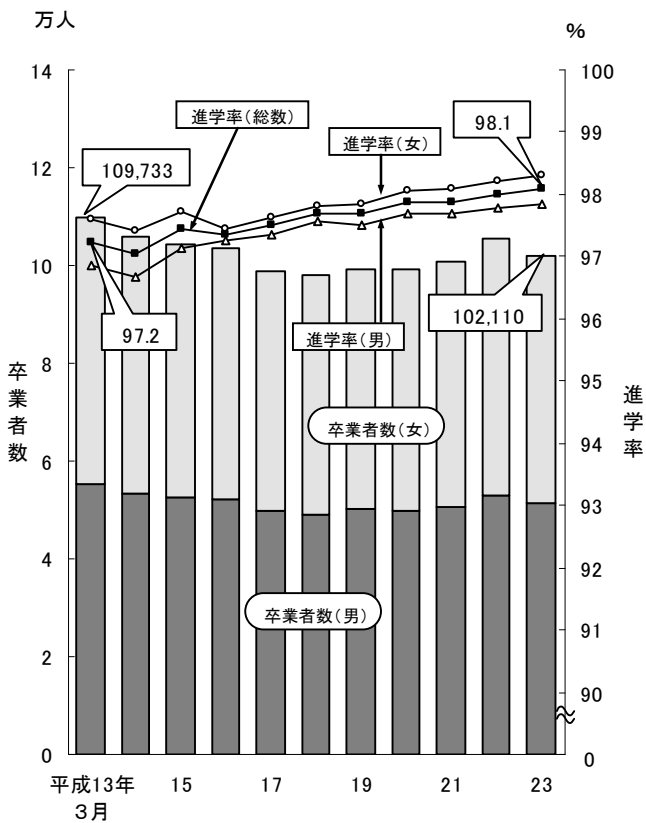


図5-2 高等学校の卒業生数及び進学率の推移

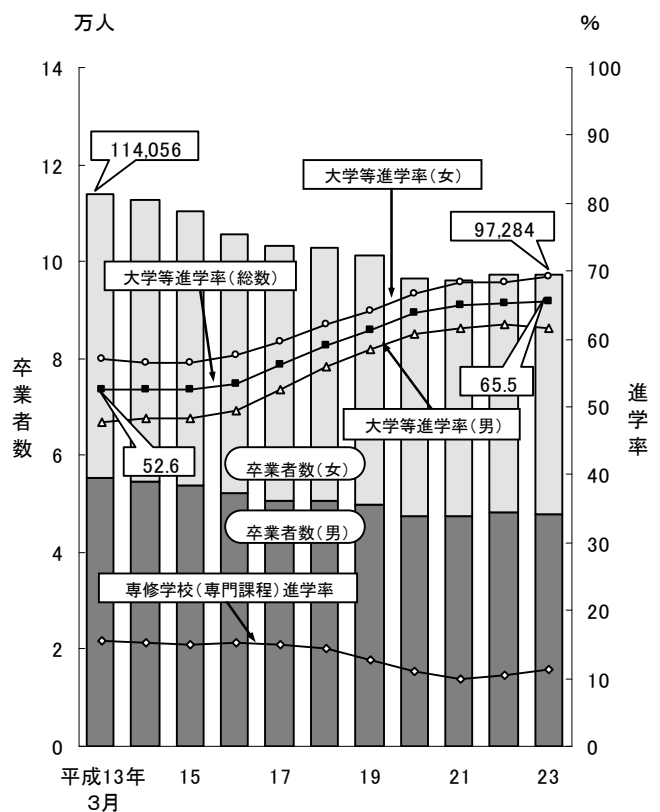
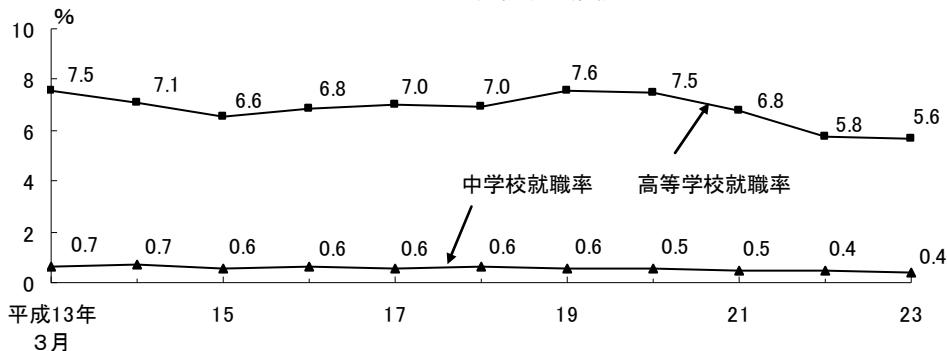


図5-3 就職率の推移



2 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ① 幼稚園数は1,051園で、前年度より6園減少した。
- ② 地域別に前年度増減をみると、区部が753園で4園、市部が294園で2園それぞれ減少し、郡部は4園で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が195園で前年度より2園減少し、私立が854園で4園減少した。構成比では私立が全体の81.3%を占めている。(表3、統計表2-1)

表3 地域、設置者別幼稚園数

(単位：園、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,150	1,095	1,084	1,080	1,064	1,057	1,051	△ 6	100.0
(地域別)									
区部	823	786	778	775	763	757	753	△ 4	71.6
市部	323	305	302	301	297	296	294	△ 2	28.0
郡部	4	4	4	4	4	4	4	0	0.4
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	2	2	2	2	2	2	2	0	0.2
公立	244 (13)	223 (11)	214 (8)	213 (10)	201 (10)	197 (10)	195 (9)	△ 2	18.6
私立	904 (37)	870 (32)	868 (30)	865 (28)	861 (29)	858 (30)	854 (28)	△ 4	81.3

注) () 内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は6,703学級で、前年度より19学級減少した。
- ② 設置者別にみると、国立が14学級、公立が591学級、私立が6,098学級となった。(表4、統計表2-1)

表4 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	6,839	6,903	6,896	6,849	6,773	6,722	6,703	△ 19	100.0
国立	12	13	13	13	13	13	14	1	0.2
公立	671	657	643	635	612	596	591	△ 5	8.8
私立	6,156	6,233	6,240	6,201	6,148	6,113	6,098	△ 15	91.0

(3) 園児数

- ① 園児数は171,769人で、前年度より496人増加した。10年前の平成13年度と比較すると769人増加した。
- ② 地域別にみると、区部が110,197人で前年度より490人増加した。構成比では区部が64.2%を占めている。
- ③ 設置者別では、国立が396人で前年度より26人、公立が13,628人で139人、私立が157,745人で331人それぞれ増加した。構成比では私立が全体の91.8%を占めている。(表5、統計表2-4)

表5 男女、地域、設置者別園児数

(単位：人、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	171,000	178,850	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	496	100.0
(男女別)									
男	86,708	90,563	90,088	89,382	87,283	86,676	86,920	244	50.6
女	84,292	88,287	87,587	86,570	84,736	84,597	84,849	252	49.4
(地域別)									
区部	108,623	113,530	112,529	111,738	109,699	109,707	110,197	490	64.2
市部	61,815	64,743	64,567	63,676	61,817	61,119	61,138	19	35.6
郡部	562	577	579	538	503	447	434	△ 13	0.3
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	379	387	378	383	382	370	396	26	0.2
公立	15,166	15,353	14,773	14,362	13,705	13,489	13,628	139	7.9
私立	155,455	163,110	162,524	161,207	157,932	157,414	157,745	331	91.8

(4) 年齢別園児数

年齢別では、3歳児が53,543人で前年度より258人、4歳児が60,557人で2,706人それぞれ増加し、5歳児は57,669人で2,468人減少した。(表6、統計表2-4)

表6 年齢別園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
(実数)								
総数	171,000	178,850	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	496
3歳児	46,569	51,329	51,975	51,622	50,126	53,285	53,543	258
4歳児	63,107	63,011	62,317	61,786	59,886	57,851	60,557	2,706
5歳児	61,324	64,510	63,383	62,544	62,007	60,137	57,669	△ 2,468
(構成比)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3歳児	27.2	28.7	29.3	29.3	29.1	31.1	31.2	0.1
4歳児	36.9	35.2	35.1	35.1	34.8	33.8	35.3	1.5
5歳児	35.9	36.1	35.7	35.5	36.0	35.1	33.6	△ 1.5

(5) 1学級当たりの園児数及び教員(本務者)1人当たりの園児数

1学級当たりの園児数は25.6人で、前年度より0.1人増加した。教員(本務者)1人当たりの園児数は16.1人で0.1人増加した。(表7、統計表2-1、2-4、2-5)

表7 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの園児数

(単位：学級、人)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
学級数	6,839	6,903	6,896	6,849	6,773	6,722	6,703	△ 19
園児数	171,000	178,850	177,675	175,952	172,019	171,273	171,769	496
教員数(本務者)	10,397	10,687	10,738	10,738	10,702	10,705	10,695	△ 10
1学級当たり 園児数	25.0	25.9	25.8	25.7	25.4	25.5	25.6	0.1
教員1人当たり 園児数	16.4	16.7	16.5	16.4	16.1	16.0	16.1	0.1

(6) 入園児数

新規入園児数は62,707人で前年度より231人減少した。構成比を10年前の平成13年度と比較すると、3歳からの入園児数が14.9ポイント上昇したが、4歳は14.1ポイント、5歳は0.9ポイントそれぞれ低下した。
(表8、統計表2-4)

表8 年齢別新規入園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

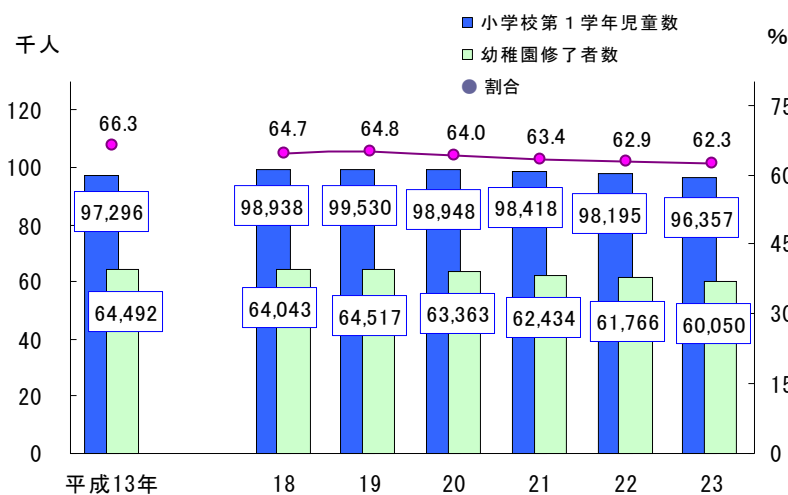
区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
(実数)								
新規入園児総数	67,575	66,239	65,799	63,759	60,612	62,938	62,707	△ 231
3歳から入園	46,204	50,550	51,089	50,670	49,078	52,004	52,213	209
4歳から入園	19,503	14,001	13,007	11,587	10,181	9,604	9,292	△ 312
5歳から入園	1,868	1,688	1,703	1,502	1,353	1,330	1,202	△ 128
(構成比)								
新規入園児総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3歳から入園	68.4	76.3	77.6	79.5	81.0	82.6	83.3	0.7
4歳から入園	28.9	21.1	19.8	18.2	16.8	15.3	14.8	△ 0.5
5歳から入園	2.8	2.5	2.6	2.4	2.2	2.1	1.9	△ 0.2

注) 新規入園児とは、当該年度4月1日から5月1日に入園した者である。

(7) 幼稚園修了者数と小学校第1学年児童数

幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合は62.3%で、前年度より0.6ポイント低下した。
(図6、統計表2-4、3-3)

図6 幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合の推移



注1) 比率 = $\frac{\text{幼稚園修了者数}}{\text{小学校第1学年児童数}} \times 100$

2) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校第1学年児童数は各年5月1日在籍者

(参考)

小学校入学前の幼児人口

(単位：人)

区分	平成21年 1月1日	平成22年 1月1日	平成23年 1月1日
6歳	99,448	97,896	98,080
5歳	97,860	98,013	94,622
4歳	98,013	94,527	99,439
3歳	94,584	99,635	101,480
2歳	99,857	101,803	103,795
1歳	102,345	104,457	105,020
0歳	101,613	102,933	104,772

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(総務局統計部人口統計課)

(8) 教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

- ① 教員数は10,695人で、前年度より10人減少した。10年前の平成13年度と比較すると298人増加した。
- ② 男女別にみると、男が724人で前年度より21人増加し、女は9,971人で31人減少した。
- ③ 設置者別では、国立が21人で前年度より2人、私立が9,809人で1人増加し、公立が865人で13人減少した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は93.2%で、前年度より0.2ポイント低下した。
- ⑤ 教育補助員(教育活動の補助にあたる者)は427人で前年度より9人増加した。

(表9、統計表2-5)

表9 男女、設置者別教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	10,397	10,687	10,738	10,738	10,702	10,705	10,695	△ 10	100.0
(男 女 別)									
男	632	669	678	713	707	703	724	21	6.8
女	9,765	10,018	10,060	10,025	9,995	10,002	9,971	△ 31	93.2
(設 置 者 別)									
国 立	16	17	18	18	18	19	21	2	0.2
公 立	1,006	908	894	898	883	878	865	△ 13	8.1
私 立	9,375	9,762	9,826	9,822	9,801	9,808	9,809	1	91.7
女性教員の割合	93.9	93.7	93.7	93.4	93.4	93.4	93.2	△ 0.2	—
教育補助員	407	420	435	452	404	418	427	9	—

3 小学校

(1) 学校数

- ① 学校数は1,367校で前年度より3校減少し19年連続の減少となった。
- ② 地域別にみると、区部は885校、市部は455校で前年度よりともに減少し、郡部は11校、島部が16校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が1,308校で前年度より3校減少した。国立は6校、私立が53校で前年度と同数である。構成比では、公立が全体の95.7%を占めている。(表10、統計表3-1、付表I 1-2)

表10 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,429	1,387	1,382	1,375	1,373	1,370	1,367	△3	100.0
(地域別)									
区部	927	898	896	890	889	886	885	△1	64.7
市部	466	457	458	457	457	457	455	△2	33.3
郡部	12	11	11	11	11	11	11	0	0.8
島部	24	21	17	17	16	16	16	0	1.2
(設置者別)									
国立	6	6	6	6	6	6	6	0	0.4
公立	1,373	1,329	1,323	1,316	1,314	1,311	1,308	△3	95.7
私立	50	52	53	53	53	53	53	0	3.9

(2) 学級数

- ① 学級数は19,732学級で前年度より118学級増加した。10年前の平成13年度と比較すると1,118学級増加した。
- ② 設置者別にみると、公立が18,826学級で121学級前年度より増加した。国立と私立はそれぞれ前年度より減少した。
- ③ 収容人員別では1学級31人～35人の学級が7,068学級で最も多く、次いで26人～30人学級の5,332学級、36人～40人の学級が3,833学級となった。(表11、統計表3-2)

表11 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	12 人以下	13～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46 人以上
総数	18,614	19,236	19,288	19,448	19,503	19,614	19,732	1,006	410	1,986	5,332	7,068	3,833	93	4
国立	120	120	121	121	120	121	119	5	—	—	7	16	87	4	—
公立	17,795	18,373	18,410	18,548	18,599	18,705	18,826	974	390	1,933	5,239	6,872	3,400	18	—
私立	699	743	757	779	784	788	787	27	20	53	86	180	346	71	4

(3) 児童数

- ① 児童数は592,192人で前年度より3,477人減少した。平成13年度から平成22年度まで10年連続して増加していたが、今年度は減少となった。
- ② 地域別にみると、区部が371,935人で1,743人、市部が215,902人で1,697人、郡部が3,010人で37人それぞれ前年度より減少した。島部は1,345人で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国公立全ての設置者にて前年度より減少した。構成比では、公立が全体の94.8%を占めている。(表12、統計表3-3)

表 12 男女、地域、設置者別児童数

(単位：人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	558,286	586,492	588,374	592,736	594,326	595,669	592,192	△ 3,477	100.0
(男女別)									
男	285,019	299,629	300,588	303,003	304,016	304,874	302,864	△ 2,010	51.1
女	273,267	286,863	287,786	289,733	290,310	290,795	289,328	△ 1,467	48.9
(地域別)									
区 部	350,828	367,161	368,153	371,523	372,285	373,678	371,935	△ 1,743	62.8
市 部	202,597	214,787	215,750	216,809	217,620	217,599	215,902	△ 1,697	36.5
郡 部	3,297	3,207	3,147	3,107	3,095	3,047	3,010	△ 37	0.5
島 部	1,564	1,337	1,324	1,297	1,326	1,345	1,345	0	0.2
(設置者別)									
国 立	4,530	4,531	4,497	4,463	4,434	4,381	4,292	△ 89	0.7
公 立	527,616	555,245	556,969	561,302	562,886	564,426	561,329	△ 3,097	94.8
私 立	26,140	26,716	26,908	26,971	27,006	26,862	26,571	△ 291	4.5

(4) 1学級当たりの児童数及び教員(本務者)1人当たりの児童数

1学級当たりの児童数は30.0人で前年度より0.4人減少し、10年前の平成13年度と比較すると同数となった。また、教員(本務者)1人当たりの児童数は18.6人で前年度より0.3人減少し、10年前の平成13年度と比較すると0.8人減少した。(表13、統計表3-2、3-3、3-6)

表13 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの児童数

(単位：学級、人)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
学 級 数	18,614	19,236	19,288	19,448	19,503	19,614	19,732	118
児 童 数	558,286	586,492	588,374	592,736	594,326	595,669	592,192	△ 3,477
教員数(本務者)	28,738	30,323	30,650	30,860	31,077	31,447	31,877	430
1学級当たり 児童数	30.0	30.5	30.5	30.5	30.5	30.4	30.0	△ 0.4
教員1人当たり 児童数	19.4	19.3	19.2	19.2	19.1	18.9	18.6	△ 0.3

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数、児童数

特別支援学級のある学校数は318校で、前年度より5校増加した。また、学級数は832学級で、前年度より35学級増加した。児童数は5,383人となり、前年度より204人増加し、10年前の平成13年度と比較すると2,298人増加した。(表14、統計表3-8)

表14 特別支援学級のある学校数、学級数及び児童数

(単位：校、学級、人)

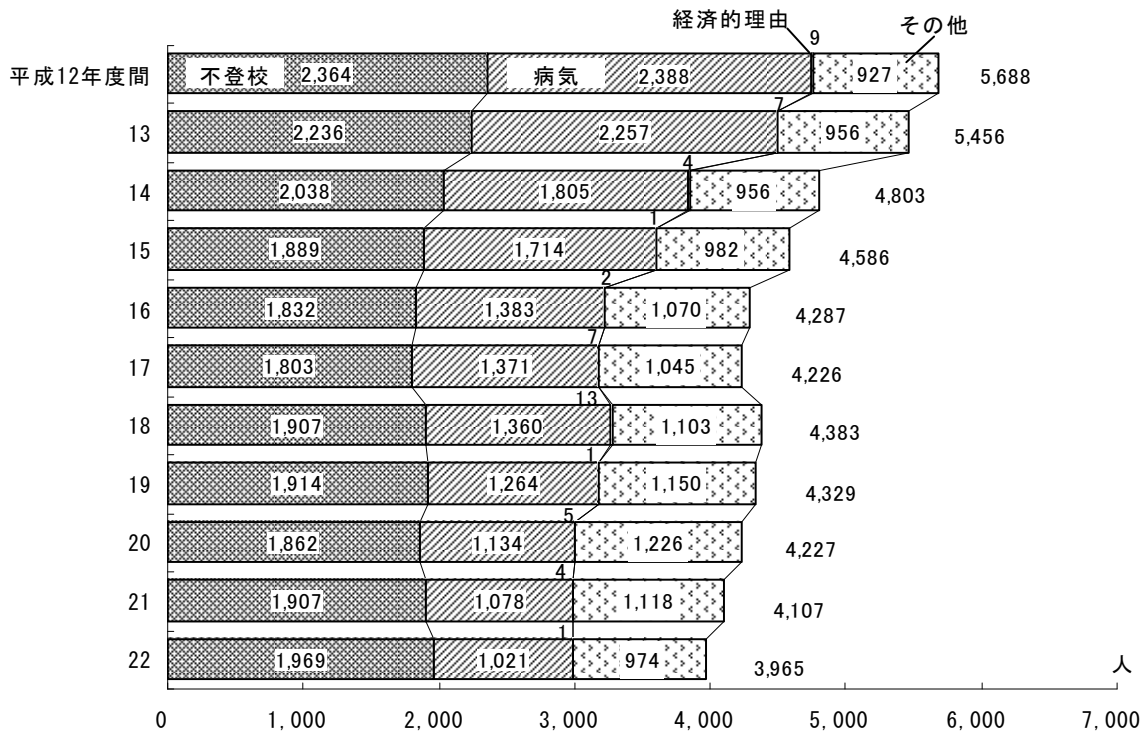
区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
学校数	272	292	296	299	304	313	318	5
学級数	525	666	696	730	766	797	832	35
児童数	3,085	4,117	4,375	4,646	4,940	5,179	5,383	204
知的障害	2,603	3,642	3,902	4,182	4,472	4,708	4,913	205
肢体不自由	61	64	59	63	59	63	52	△ 11
病弱・身体虚弱	177	110	108	99	76	67	74	7
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	244	301	306	302	333	341	344	3

(6) 長期欠席者数

- ① 平成 22 年度間に 30 日以上欠席した児童は 3,965 人で平成 21 年度間より 142 人減少した。10 年前の平成 12 年度間の 5,688 人より 1,723 人減少した。
- ② 理由別内訳では、不登校は 1,969 人で前年度より 62 人増加し、病気は 1,021 人で 57 人、経済的理由が 1 人で 3 人、その他が 974 人で 144 人それぞれ減少した。
- ③ 児童総数(595,669 人)からみると、長期欠席者の割合は 150 人に 1 人となり、理由別内訳では不登校が 303 人に 1 人となった。

(図 7、統計表 3-5)

図 7 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は、31,877 人で前年度より 430 人増加した。10 年前の平成 13 年度と比較すると 3,139 人増加した。
- ② 男女別では、男が 11,668 人で前年度より 222 人、女が 20,209 人で 208 人増加した。
- ③ 設置者別では、前年度より国立が 176 人で 3 人、公立が 30,302 人で 406 人、私立が 1,399 人で 21 人それぞれ増加した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は 63.4%で、前年度より 0.2 ポイント低下した。

(表 15、統計表 3-6)

表 15 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	28,738	30,323	30,650	30,860	31,077	31,447	31,877	430	100.0
(男女別)									
男	10,020	10,751	10,925	11,026	11,248	11,446	11,668	222	36.6
女	18,718	19,572	19,725	19,834	19,829	20,001	20,209	208	63.4
(設置者別)									
国立	167	162	165	175	172	173	176	3	0.6
公立	27,352	28,874	29,170	29,337	29,546	29,896	30,302	406	95.1
私立	1,219	1,287	1,315	1,348	1,359	1,378	1,399	21	4.4
女性教員の割合	65.1	64.5	64.4	64.3	63.8	63.6	63.4	△ 0.2	—

4 中学校

(1) 学校数

- ① 学校数は819校で前年度より3校減少した。10年前の平成13年度と比較すると24校減少した。
 - ② 地域別にみると、区部が537校で前年度より2校、市部が260校で1校それぞれ減少し、郡部は7校、島部は15校で前年度と同数である。
 - ③ 設置者別では、公立が626校で3校減少し、私立は187校、国立は6校で前年度と同数である。構成比では、公立が全体の76.4%を占めている。
 - ④ 中高一貫教育を行う学校は19校で前年度より1校増加した。 (表16、統計表4-1)
- ※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照のこと。

表16 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	
								増減	構成比
総数	843	828	826	822	817	822	819	△3	100.0
(地域別)									
区部	562	545	545	540	535	539	537	△2	65.6
市部	255	259	259	260	260	261	260	△1	31.7
郡部	8	7	7	7	7	7	7	0	0.9
島部	18	17	15	15	15	15	15	0	1.8
(設置者別)									
国立	7	7	7	7	6	6	6	0	0.7
公立	657	640	636	631	627	629	626	△3	76.4
私立	179	181	183	184	184	187	187	0	22.8
	(1)	(3)	(3)	(3)	(3)	(4)	(4)		
中高一貫教育を行う学校(再掲)	...	14	12	14	15	18	19	1	2.3
併設型	...	2	2	4	5	8	9	1	1.1
連携型	...	12	10	10	10	10	10	0	1.2

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は9,466学級で前年度より169学級増加した。10年前の平成13年度と比較すると262学級増加した。
- ② 設置者別でみると、公立が7,116学級で167学級、私立が2,278学級で2学級前年度より増加し、国立は72学級で前年度と同数である。
- ③ 収容人員別では1学級36人~40人の学級が3,510学級で最も多く、次いで31人~35人の学級が3,240学級、26人~30人の学級が928学級となった。 (表17、統計表4-3)

表17 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	12人以下							
								12人以下	13~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46人以上
総数	9,204	8,898	9,069	9,165	9,300	9,297	9,466	617	148	257	928	3,240	3,510	669	97
国立	84	84	80	76	72	72	72	1	-	-	-	8	44	19	-
公立	7,087	6,704	6,800	6,834	6,932	6,949	7,116	517	46	153	709	2,845	2,834	12	-
私立	2,033	2,110	2,189	2,255	2,296	2,276	2,278	99	102	104	219	387	632	638	97

(3) 生徒数

- ① 生徒数は311,982人で前年度より2,735人増加した。
- ② 地域別にみると、区部が201,237人で前年度より1,516人、市部が108,608人で1,205人、郡部が1,524人で2人、島部が613人で12人それぞれ増加した。
- ③ 設置者別では、公立が229,483人で4,118人増加したが、国立は2,799人で17人、私立が79,700人で1,366人それぞれ減少した。
- ④ 設置者別の構成比では、公立が全体の73.6%を占めている。

(表18、統計表4-4)

表18 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	312,565	298,062	304,555	307,538	311,305	309,247	311,982	2,735	100.0
(男 女 別)									
男	157,365	150,187	153,142	154,684	156,651	155,646	157,266	1,620	50.4
女	155,200	147,875	151,413	152,854	154,654	153,601	154,716	1,115	49.6
(地 域 別)									
区 部	203,442	193,286	197,645	198,947	201,532	199,721	201,237	1,516	64.5
市 部	106,381	102,503	104,702	106,381	107,600	107,403	108,608	1,205	34.8
郡 部	1,827	1,524	1,501	1,527	1,547	1,522	1,524	2	0.5
島 部	915	749	707	683	626	601	613	12	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	3,261	3,246	3,116	2,979	2,819	2,816	2,799	△ 17	0.9
公 立	233,593	217,332	221,426	222,919	225,885	225,365	229,483	4,118	73.6
私 立	75,711	77,484	80,013	81,640	82,601	81,066	79,700	△ 1,366	25.5

(4) 1学級当たりの生徒数及び教員(本務者)1人当たりの生徒数

1学級当たりの生徒数は33.0人で前年度より0.3人減少した。10年前の平成13年度と比較すると1.0人減少した。また、教員(本務者)1人当たりの生徒数は16.4人で、前年度より0.1人減少した。10年前の平成13年度と比較すると0.7人減少した。

(表19、統計表4-3、4-4、4-7)

表19 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの生徒数

(単位：学級、人)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
学 級 数	9,204	8,898	9,069	9,165	9,300	9,297	9,466	169
生 徒 数	312,565	298,062	304,555	307,538	311,305	309,247	311,982	2,735
教員数(本務者)	18,327	18,252	18,416	18,530	18,690	18,749	19,055	306
1学級当たり 生徒数	34.0	33.5	33.6	33.6	33.5	33.3	33.0	△ 0.3
教員1人当たり 生徒数	17.1	16.3	16.5	16.6	16.7	16.5	16.4	△ 0.1

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数、生徒数

- ① 特別支援学級のある学校数は181校で、前年度より11校増加した。
- ② 学級数は477学級で、前年度より26学級増加した。
- ③ 生徒数は3,198人で前年度より187人増加した。10年前の平成13年度と比較すると1,553人増加した。

(表20、統計表4-9)

表20 特別支援学級のある学校数、学級数及び生徒数

(単位：校、学級、人)

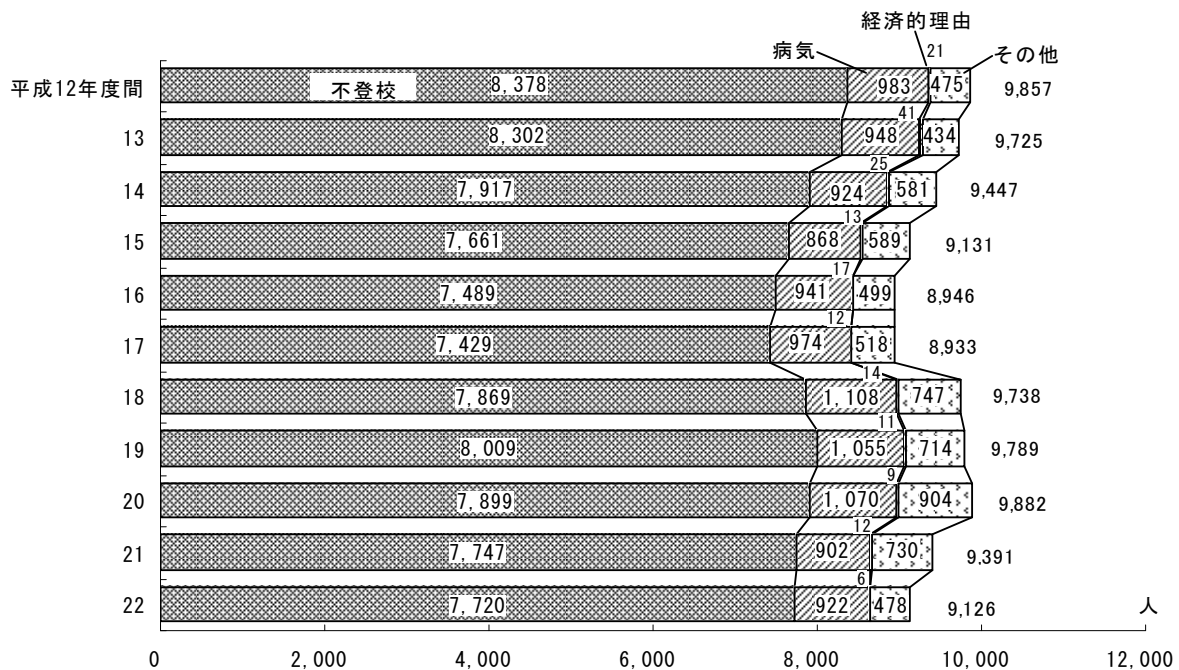
区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
学校数	144	154	155	165	170	170	181	11
学級数	273	346	373	406	432	451	477	26
生徒数	1,645	2,229	2,448	2,645	2,883	3,011	3,198	187
知的障害	1,506	2,053	2,264	2,461	2,668	2,780	2,939	159
肢体不自由	16	20	21	18	18	18	27	9
病弱・身体虚弱	1	2	2	1	2	—	—	—
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	122	154	161	165	195	213	232	19

(6) 長期欠席者数

- ① 平成22年度間に30日以上欠席した生徒は、9,126人で前年度間より265人減少した。
- ② 理由別内訳では、不登校が7,720人で平成21年度間より27人減少し、病気は922人で20人増加した。
- ③ 生徒総数(309,247人)からみると、長期欠席者の割合が34人に1人となり、理由別内訳では不登校が40人に1人、病気が335人に1人となった。

(図8、統計表4-6)

図8 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数（本務者）

- ① 教員数は19,055人で前年度より306人増加した。10年前の平成13年度と比較すると728人増加した。
- ② 男女別では、男が11,062人で166人、女が7,993人で140人それぞれ増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は41.9%で前年度と同じである。
- ④ 設置者別では、公立が14,669人で265人、私立が4,248人で45人増加した。（表21、統計表4-7）

表21 男女、設置者別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	
								増減	構 成 比
総 数	18,327	18,252	18,416	18,530	18,690	18,749	19,055	306	100.0
(男女別)									
男	10,678	10,691	10,748	10,844	10,923	10,896	11,062	166	58.1
女	7,649	7,561	7,668	7,686	7,767	7,853	7,993	140	41.9
(設置者別)									
国 立	168	168	143	142	144	142	138	△ 4	0.7
公 立	14,415	14,189	14,274	14,305	14,360	14,404	14,669	265	77.0
私 立	3,744	3,895	3,999	4,083	4,186	4,203	4,248	45	22.3
女性教員の割合	41.7	41.4	41.6	41.5	41.6	41.9	41.9	0.0	—

5 高等学校

〔全日制課程・定時制課程〕

(1) 学校数

- ① 学校数は434校で前年度より1校減少した。10年前の平成13年度と比較すると23校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が310校で前年度より1校減少し、市部は116校、郡部は1校、島部は7校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国立が6校、私立が237校で前年度と同数で、公立が191校で1校減少した。構成比では、私立が全体の54.6%を占めている。
- ④ 課程別では、全日制課程のみの設置校が358校で前年度より1校減少し、定時制課程のみの設置校が15校、全日制・定時制併置校が61校でそれぞれ前年度と同数である。
- ⑤ 中高一貫教育を行う学校は15校で、前年度より1校増加した。

(表22、統計表5-1)

※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照のこと。

表22 地域、設置者、課程別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	457	451	450	447	438	435	434	△ 1	100.0
(地 域 別)									
区 部	331	326	323	320	313	311	310	△ 1	71.4
市 部	118	116	118	119	117	116	116	0	26.7
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.2
島 部	7	8	8	7	7	7	7	0	1.6
(設 置 者 別)									
国 立	6	6	6	6	6	6	6	0	1.4
公 立	213	207	206	203	195	192	191	△ 1	44.0
私 立	238	238	238	238	237	237	237	0	54.6
(課 程 別)									
全 日 制	(1)	(2)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)		
定 時 制	330	334	334	344	345	359	358	△ 1	82.5
併 置	12	18	25	25	21	15	15	0	3.5
併 置	115	99	91	78	72	61	61	0	14.1
中高一貫教育を 行う学校(再掲)	...	8	8	10	11	14	15	1	3.5
併 設 型	...	2	2	4	5	8	9	1	2.1
連 携 型	...	6	6	6	6	6	6	0	1.4

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数(本科)

- ① 生徒数は313,779人で前年度より596人増加となった。
- ② 地域別にみると、区部が223,103人で828人、郡部が609人で12人それぞれ前年度より増加したが、市部が89,309人で209人、島部が758人で35人それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、公立が134,864人で1,322人前年度より増加したが、国立が3,378人で67人、私立が175,537人で659人それぞれ前年度より減少した。
- ④ 課程別では、全日制が297,640人で前年度より325人、定時制が16,139人で271人それぞれ増加した。

(表23、統計表5-5)

表23 男女、地域、設置者、課程別生徒数（本科）

（単位：人、％）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	349,813	311,592	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	596	100.0
(男 女 別)									
男	172,009	154,859	151,915	151,763	152,467	154,385	154,369	△ 16	49.2
女	177,804	156,733	154,895	154,745	155,786	158,798	159,410	612	50.8
(地 域 別)									
区 部	247,972	221,333	217,865	217,201	218,436	222,275	223,103	828	71.1
市 部	100,262	88,867	87,571	87,918	88,446	89,518	89,309	△ 209	28.5
郡 部	633	600	595	585	571	597	609	12	0.2
島 部	946	792	779	804	800	793	758	△ 35	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	3,437	3,475	3,481	3,490	3,493	3,445	3,378	△ 67	1.1
公 立	151,578	132,769	130,345	129,663	130,827	133,542	134,864	1,322	43.0
私 立	194,798	175,348	172,984	173,355	173,933	176,196	175,537	△ 659	55.9
(課 程 別)									
全 日 制	335,214	297,149	291,997	291,722	293,039	297,315	297,640	325	94.9
定 時 制	14,599	14,443	14,813	14,786	15,214	15,868	16,139	271	5.1

(3) 学科別生徒数

学科別生徒数は、普通科が268,683人で最も多く、次いで工業科15,124人、総合学科9,743人である。

（表24、統計表5-6）

表24 学科別生徒数

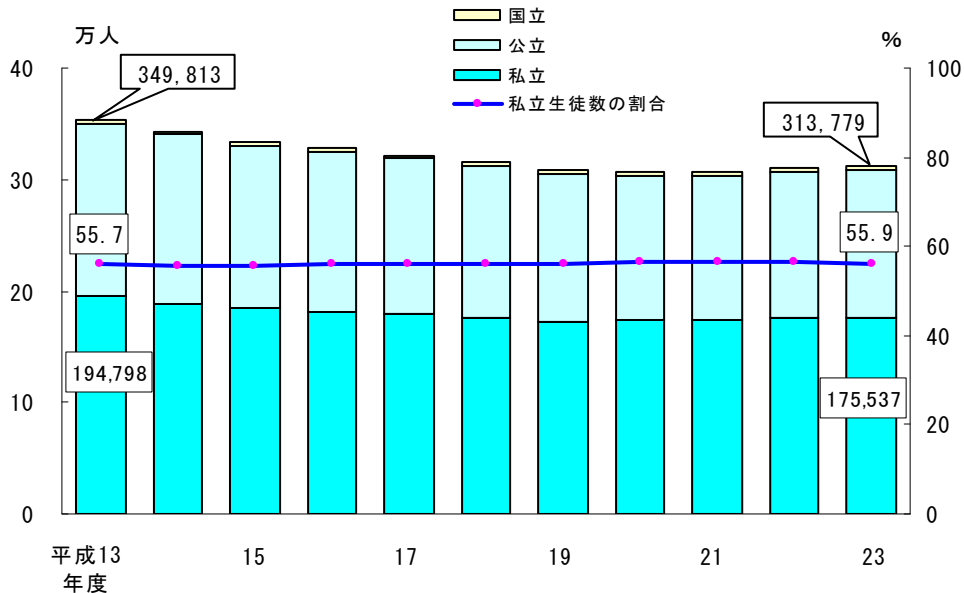
（単位：人、％）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	349,813	311,592	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	596	100.0
普 通 科	299,852	269,489	265,063	264,287	265,287	269,386	268,683	△ 703	85.6
農 業	3,053	2,398	2,247	2,260	2,277	2,308	2,358	50	0.8
工 業	21,921	17,027	16,060	15,154	14,576	14,635	15,124	489	4.8
商 業	16,325	11,085	9,816	9,289	9,190	9,383	9,601	218	3.1
水 産	114	70	33	—	—	—	—	—	—
家 庭	1,940	1,509	1,476	1,460	1,420	1,331	1,266	△ 65	0.4
看 護	174	148	156	145	157	159	178	19	0.1
情 報	—	231	241	222	226	236	244	8	0.1
福 祉	—	35	69	98	93	98	97	△ 1	0.0
そ の 他	5,210	4,668	5,307	5,909	6,395	6,412	6,485	73	2.1
総 合 学 科	1,224	4,932	6,342	7,684	8,632	9,235	9,743	508	3.1

(4) 生徒総数に占める私立生徒数の割合

生徒総数に占める私立学校生徒数の割合は55.9%となり、10年前の平成13年度と比較すると0.2ポイント上昇した。(図9、統計表5-5)

図9 設置者別高等学校生徒数及び私立生徒数の割合の推移



(5) 教員1人当たりの生徒数

教員(本務者)1人当たりの生徒数は16.7人で前年度より0.1人減少し、10年前の平成13年度と比較すると0.8人減少した。(表25、統計表5-5、5-10)

表25 教員(本務者)1人当たりの生徒数

(単位:人)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
本科生徒数	349,813	311,592	306,810	306,508	308,253	313,183	313,779	596
教員数(本務者)	20,006	18,889	18,622	18,513	18,569	18,672	18,750	78
教員1人当たり 本科生徒数	17.5	16.5	16.5	16.6	16.6	16.8	16.7	△ 0.1

(6) 設置者別入学者数

入学者は、104,781人で前年度より4,011人減少した。入学者のうち他県所在の中学校卒業生等の占める割合は10.4%で前年度より0.8ポイント低下した。設置者別では、国立が25.5%、公立が1.1%、私立が17.4%である。(表26、統計表5-8)

表26 設置者別入学者数

(単位:人、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	国立	公立	私立
総数(A)	116,053	104,559	105,375	104,985	105,352	108,792	104,781	1,112	45,254	58,415
うち他県所在の中学校 卒業生及び中等教育学校 前期課程修了者(B)	14,566	13,081	12,784	12,722	12,703	12,145	10,935	284	504	10,147
割合(B)/(A)	12.6	12.5	12.1	12.1	12.1	11.2	10.4	25.5	1.1	17.4

(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は18,750人で前年度より78人増加した。10年前の平成13年度と比較すると1,256人減少した。
- ② 男女別にみると、男が12,812人で前年度より26人減少し、女が5,938人で104人増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は31.7%で、前年度より0.5ポイント上昇した。
- ④ 設置者別では、国立は205人で前年度より3人減少したが、公立は9,313人で29人、私立は9,232人で52人増加した。

(表27、統計表5-10)

表27 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	20,006	18,889	18,622	18,513	18,569	18,672	18,750	78	100.0
(男女別)									
男	14,370	13,314	13,065	12,913	12,887	12,838	12,812	△26	68.3
女	5,636	5,575	5,557	5,600	5,682	5,834	5,938	104	31.7
(設置者別)									
国立	238	236	207	206	206	208	205	△3	1.1
公立	10,595	9,680	9,500	9,336	9,268	9,284	9,313	29	49.7
私立	9,173	8,973	8,915	8,971	9,095	9,180	9,232	52	49.2
女性教員の割合	28.2	29.5	29.8	30.2	30.6	31.2	31.7	0.5	—

[通信制課程]

(8) 学校数、生徒数、教員数(本務者)

- ① 学校数は13校(独立校4校、併置校9校)で前年度と同数である。
- ② 生徒数は14,255人で前年度より2,369人減少した。
- ③ 年齢別では「15歳～17歳」が9,651人で全体の67.7%で、「18歳～19歳」が2,147人、「20歳～29歳」が1,360人であった。
- ④ 教員数(本務者)は306人で前年度より5人減少した。

(表28、統計表5-12、5-13)

表28 通信制課程の学校数、生徒数及び教員数(本務者)

(単位:校、人、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
学校数	10	12	12	12	13	13	13	0	100.0
独立校	2	3	3	3	4	4	4	0	30.8
併置校	8	9	9	9	9	9	9	0	69.2
生徒数	25,516	22,219	19,881	18,735	18,616	16,624	14,255	△2,369	100.0
15～17歳	18,248	11,535	11,369	10,606	10,234	10,049	9,651	△398	67.7
18～19	3,722	3,921	2,953	2,793	2,461	2,354	2,147	△207	15.1
20～29	2,444	2,845	2,385	2,139	1,952	1,603	1,360	△243	9.5
30～39	450	1,499	1,148	1,137	1,327	845	437	△408	3.1
40～49	214	1,190	949	920	1,204	767	289	△478	2.0
50～59	286	908	774	809	1,006	634	158	△476	1.1
60歳以上	152	321	303	331	432	372	213	△159	1.5
教員数(本務者)	317	341	323	315	317	311	306	△5	—

注) 独立校とは通信制課程のみの学校、併置校とは全日制や定時制と併置している学校である。

(3) 教員（本務者）1人当たりの生徒数

教員（本務者）1人当たりの生徒数は12.0人で、前年度より1.1人増加した。10年前の平成13年度と比較すると4.2人減少した。（表31、統計表6-3、6-5）

表31 教員（本務者）1人当たりの生徒数

（単位：人）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
生 徒 数	696	1,479	2,048	2,759	3,481	4,385	5,319	934
教員数（本務者）	43	90	180	218	248	401	444	43
教員1人当たり 生 徒 数	16.2	16.4	11.4	12.7	14.0	10.9	12.0	1.1

(4) 教員数（本務者）

- ① 教員数は444人で前年度より43人増加した。10年前の平成13年度と比較すると401人増加した。
- ② 男女別では、男が299人で31人、女が145人で12人前年度より増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は32.7%で、前年度より0.5ポイント低下した。
- ④ 設置者別では、国立が96人で前年度と同数であり、公立は348人で前年度より43人増加した。

（表32、統計表6-5）

表32 男女、設置者別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	43	90	180	218	248	401	444	43	100.0
（男女別）									
男	29	56	115	139	147	268	299	31	67.3
女	14	34	65	79	101	133	145	12	32.7
（設置者別）									
国 立	43	42	96	95	95	96	96	0	21.6
公 立	—	48	84	123	153	305	348	43	78.4
私 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性教員の割合	32.6	37.8	36.1	36.2	40.7	33.2	32.7	△ 0.5	—

7 特別支援学校

(1) 学校数

- ① 学校数は69校で、前年度より1校増加した。10年前の平成13年度と比較すると1校減少した。
 ② 設置者別では、国立が4校、公立が61校、私立が4校である。(表33、統計表7-1)

表33 設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	70	67	66	67	68	68	69	1	100.0
国立	4	4	4	4	4	4	4	0	5.8
公立	63	60	59	59	60	60	61	1	88.4
私立	3	3	3	4	4	4	4	0	5.8

注) 平成13年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(2) 学級数

学級数は2,459学級で前年度より53学級増加した。10年前の平成13年度と比較すると500学級増加した。(表34、統計表7-2)

表34 部別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,959	2,147	2,198	2,269	2,353	2,406	2,459	53	100.0
幼稚部	45	45	46	48	49	46	48	2	2.0
小学部	768	879	907	923	937	954	963	9	39.2
中学部	494	515	521	543	571	574	588	14	23.9
高等部	652	708	724	755	796	832	860	28	35.0

注) 平成13年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(3) 在学者数

- ① 在学者数は11,592人で前年度より447人増加した。10年前の平成13年度と比較すると3,490人増加した。
 ② 部別では、幼稚部が178人で2人、小学部が3,706人で79人、中学部が2,408人で85人、高等部が5,300人で281人前年度よりそれぞれ増加した。
 ③ 設置者別では、国立が465人で2人、公立が10,893人で437人、私立が234人で8人前年度よりそれぞれ増加した。(表35、統計表7-3)

表35 男女、部、設置者別在学者数

(単位：人、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
総数	8,102	9,337	9,722	10,252	10,804	11,145	11,592	447	100.0
(男女別)									
男	5,134	6,054	6,347	6,636	7,000	7,214	7,503	289	64.7
女	2,968	3,283	3,375	3,616	3,804	3,931	4,089	158	35.3
(部別)									
幼稚部	170	172	183	206	197	176	178	2	1.5
小学部	2,671	3,257	3,379	3,502	3,595	3,627	3,706	79	32.0
中学部	1,812	1,988	2,048	2,169	2,290	2,323	2,408	85	20.8
高等部	3,449	3,920	4,112	4,375	4,722	5,019	5,300	281	45.7
(設置者別)									
国立	464	438	450	456	475	463	465	2	4.0
公立	7,481	8,701	9,078	9,580	10,110	10,456	10,893	437	94.0
私立	157	198	194	216	219	226	234	8	2.0

注) 平成13年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(4) 1学級当たりの在学者数及び教員（本務者）1人当たりの在学者数

1学級当たりの在学者数は4.7人で前年度より0.1人増加した。教員（本務者）1人当たりの在学者数は2.0人で、10年前の平成13年度と比較すると0.2人増加した。

（表36、統計表7-2、7-3、7-6）

表36 1学級当たり、教員（本務者）1人当たりの在学者数

（単位：学級、人）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減
								(対前年度)
学 級 数	1,959	2,147	2,198	2,269	2,353	2,406	2,459	53
在 学 者 数	8,102	9,337	9,722	10,252	10,804	11,145	11,592	447
教員数（本務者）	4,580	5,025	5,132	5,288	5,486	5,613	5,723	110
1学級当たり 在 学 者 数	4.1	4.3	4.4	4.5	4.6	4.6	4.7	0.1
教員1人当たり 在 学 者 数	1.8	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0	0.0

注) 平成13年度の数值は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(5) 障害種別学校数、学級数及び在学者数

障害種別では、学校数、学級数及び在学者数とも知的障害が最も多い。（表37、統計表7-4、7-5）

表37 障害種別学校数、学級数及び在学者数

（単位：校、学級、人）

区 分	学 校 数	学 級 数	在 学 者 数	在 学 者 数			
				幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部
総 数	69	2,459	11,592	178	3,706	2,408	5,300
視 覚 障 害	4	84	390	29	64	61	236
聴 覚 障 害	6	145	676	116	229	159	172
知 的 障 害	36	1,133	7,059	20	1,733	1,293	4,013
肢 体 不 自 由	13	312	1,299	—	615	337	347
病 弱 ・ 身 体 虚 弱	4	48	168	—	109	47	12
そ の 他	6	737	2,000	13	956	511	520

注1) 学校数は、学校教育法第73条により当該学校が教育の対象としている障害に計上した。

2) 「その他」とは、複数の障害種別の組み合わせである。

(6) 教員数（本務者）

① 教員数は5,723人で前年度より110人増加した。10年前の平成13年度と比較すると1,143人増加した。

② 男女別では、男が2,321人で20人、女が3,402人で90人前年度よりそれぞれ増加した。

③ 教員数に占める女性教員の割合は59.4%で前年度より0.4ポイント上昇した。（表38、統計表7-6）

表38 男女別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	4,580	5,025	5,132	5,288	5,486	5,613	5,723	110	100.0
男	1,995	2,117	2,144	2,186	2,250	2,301	2,321	20	40.6
女	2,585	2,908	2,988	3,102	3,236	3,312	3,402	90	59.4
女性教員の割合	56.4	57.9	58.2	58.7	59.0	59.0	59.4	0.4	—

注) 平成13年度の数值は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

8 専修学校

(1) 学校数

- ① 学校数は431校で前年度より15校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が367校で前年度より12校、市部が64校で3校それぞれ減少した。
- ③ 設置者別では、国立が2校、公立が9校でともに前年度と同数であり、私立は420校で15校減少した。

表39 地域、設置者別学校数

(表39、統計表8-1)

(単位：校、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	460	461	456	451	449	446	431	△ 15	100.0
(地 域 別)									
区 部	390	390	386	382	382	379	367	△ 12	85.2
市 部	70	71	70	69	67	67	64	△ 3	14.8
郡 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	9	3	3	3	3	2	2	0	0.5
公 立	13	9	9	9	9	9	9	0	2.1
私 立	438	449	444	439	437	435	420	△ 15	97.4
	(21)	(18)	(19)	(21)	(20)	(32)	(26)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は142,547人で前年度より780人増加した。10年前の平成13年度と比較すると52,862人減少した。
- ② 男女別にみると、男が68,002人で前年度より473人、女が74,545人で307人それぞれ増加した。
- ③ 地域別では、区部が122,206人で前年度より98人、市部が20,341人で682人それぞれ増加した。
- ④ 設置者別では、私立が140,622人で840人前年度より増加した。

(表40、統計表8-6)

表40 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	195,409	174,699	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	780	100.0
(男 女 別)									
男	97,717	85,079	78,127	72,218	67,300	67,529	68,002	473	47.7
女	97,692	89,620	84,805	78,897	73,575	74,238	74,545	307	52.3
(地 域 別)									
区 部	169,150	149,876	139,431	130,059	121,558	122,108	122,206	98	85.7
市 部	26,259	24,823	23,501	21,056	19,317	19,659	20,341	682	14.3
郡 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	1,086	241	239	239	231	100	77	△ 23	0.1
公 立	3,765	2,032	1,936	1,865	1,893	1,885	1,848	△ 37	1.3
私 立	190,558	172,426	160,757	149,011	138,751	139,782	140,622	840	98.6

(3) 課程別生徒数

課程別の生徒数は、専門課程が129,584人で前年度より1,140人増加し、一般課程は9,786人で243人、高等課程が3,177人で117人それぞれ前年度より減少した。構成比は、専門課程は90.9%で前年度より0.3ポイント上昇した。

(表41、統計表8-6)

表41 課程別生徒数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)
(実 数)								
総 数	195,409	174,699	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	780
高等課程	6,667	4,216	4,000	3,664	3,360	3,294	3,177	△ 117
専門課程	174,065	160,352	149,970	137,190	127,831	128,444	129,584	1,140
一般課程	14,677	10,131	8,962	10,261	9,684	10,029	9,786	△ 243
(構 成 比)								
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
高等課程	3.4	2.4	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2	△ 0.1
専門課程	89.1	91.8	92.0	90.8	90.7	90.6	90.9	0.3
一般課程	7.5	5.8	5.5	6.8	6.9	7.1	6.9	△ 0.2

(4) 分野別生徒数

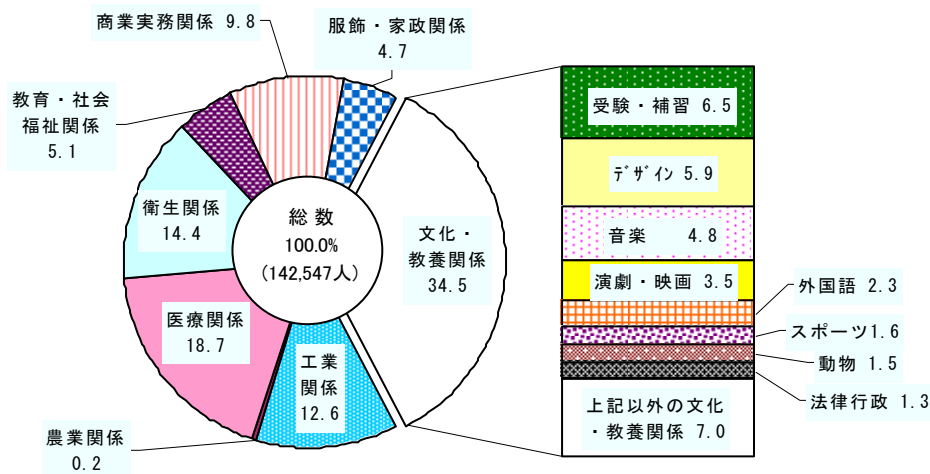
分野別生徒数では、多い順に「文化・教養関係」が49,172人で全体の34.5%を占め、次いで「医療関係」が26,621人、「衛生関係」が20,525人となった。生徒数を前年度と比較すると、「工業関係」、「農業関係」、「医療関係」、「衛生関係」、「教育・社会福祉関係」が増加し、「商業実務関係」、「服飾・家政関係」、「文化・教養関係」は減少した。(表42、図10、統計表8-7)

表42 分野別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
総 数	195,409	174,699	162,932	151,115	140,875	141,767	142,547	780	100.0
工業関係	35,774	22,867	19,729	18,053	17,260	17,598	17,961	363	12.6
農業関係	1,303	407	324	240	241	292	350	58	0.2
医療関係	29,216	31,697	29,746	27,529	26,502	26,012	26,621	609	18.7
衛生関係	24,647	24,016	23,206	20,706	18,907	19,611	20,525	914	14.4
教育・社会福祉関係	11,728	12,341	9,933	7,646	6,318	6,574	7,209	635	5.1
商業実務関係	17,803	15,775	15,531	15,848	14,641	14,515	13,982	△ 533	9.8
服飾・家政関係	13,765	10,318	9,921	9,157	7,881	7,475	6,727	△ 748	4.7
文化・教養関係	61,173	57,278	54,542	51,936	49,125	49,690	49,172	△ 518	34.5

図10 分野別生徒数の構成比



(5) 学科別生徒数〔上位5学科・男女別〕

生徒数の多い学科〔上位5学科〕を男女別にみると、男は「受験・補習」の6,712人が最も多く、次いで「音楽」、「デザイン」、「情報処理」、「自動車整備」の順となった。女は「美容」の7,717人が最も多く、次いで「看護」、「デザイン」、「和洋裁」、「音楽」の順となった。(表43、統計表8-7)

表43 男女別生徒数の多い学科(上位5学科)

(男)							
1位	受験・補習 8,745人	受験・補習 6,357人	受験・補習 5,902人	受験・補習 7,029人	受験・補習 6,655人	受験・補習 6,914人	受験・補習 6,712人
2位	情報処理 8,605人	情報処理 5,516人	デザイン 4,741人	デザイン 4,092人	情報処理 3,693人	音楽 3,392人	音楽 3,453人
3位	音楽 6,301人	デザイン 5,218人	情報処理 4,692人	情報処理 4,029人	デザイン 3,637人	情報処理 3,320人	デザイン 3,146人
4位	デザイン 5,340人	音楽 4,310人	音楽 4,012人	音楽 3,618人	音楽 3,414人	デザイン 3,260人	情報処理 3,110人
5位	土木・建築 5,011人	美容 4,030人	柔道整復 3,786人	自動車整備 3,418人	自動車整備 3,273人	自動車整備 3,000人	自動車整備 2,946人
	平成13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
(女)							
1位	美容 9,558人	美容 8,850人	美容 8,833人	美容 7,913人	美容 7,272人	美容 7,590人	美容 7,717人
2位	看護 8,725人	デザイン 6,907人	デザイン 6,734人	デザイン 6,199人	看護 6,172人	看護 6,157人	看護 6,462人
3位	和洋裁 7,624人	和洋裁 6,552人	和洋裁 6,378人	看護 6,083人	デザイン 5,830人	デザイン 5,545人	デザイン 5,255人
4位	デザイン 6,757人	看護 6,444人	看護 6,176人	和洋裁 5,946人	和洋裁 5,188人	和洋裁 4,769人	和洋裁 4,341人
5位	音楽 4,105人	音楽 3,954人	音楽 3,978人	旅行 3,764人	旅行 3,445人	旅行 3,357人	音楽 3,404人
	平成13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度

注) 学科分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照のこと。

(6) 教員数

- ① 教員数は23,911人で前年度より295人減少した。10年前の平成13年度と比較すると2,681人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が7,733人で前年度より117人増加し、兼務者は16,178人で412人減少した。教員数に占める兼務者の割合は67.7%となった。(表44、統計表8-8)

表44 教員数(本務者・兼務者)

(単位:人、%)

区分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構成比
教員数	26,592	26,632	25,723	25,516	25,247	24,206	23,911	△ 295	100.0
本務者	8,038	8,255	8,067	7,831	7,975	7,616	7,733	117	32.3
兼務者	18,554	18,377	17,656	17,685	17,272	16,590	16,178	△ 412	67.7

9 各種学校

(1) 学校数

- ① 学校数は168校で前年度より3校減少した。10年前の平成13年度と比較すると28校減少した。
- ② 地域別では、区部が148校で2校、市部が19校で1校それぞれ前年度より減少し、郡部は1校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国立及び公立の各種学校はなく私立学校のみである。(表45、統計表9-1)

表45 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	196	176	179	178	173	171	168	△ 3	100.0
(地 域 別)									
区 部	169	154	157	156	152	150	148	△ 2	88.1
市 部	26	21	21	21	20	20	19	△ 1	11.3
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.6
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	1	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	195	176	179	178	173	171	168	△ 3	100.0
	(50)	(52)	(51)	(54)	(54)	(57)	(58)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は23,029人で前年度より5,256人減少した。10年前の平成13年度と比較すると13,287人減少した。
- ② 男女別にみると、男が10,565人で前年度より2,083人、女が12,464人で3,173人それぞれ減少した。
- ③ 地域別では、区部が19,660人で5,063人、市部が3,369人で193人前年度よりそれぞれ減少した。

(表46、統計表9-1)

表46 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	36,316	29,798	31,054	29,684	29,385	28,285	23,029	△ 5,256	100.0
(男 女 別)									
男	16,455	13,405	13,573	12,852	12,922	12,648	10,565	△ 2,083	45.9
女	19,861	16,393	17,481	16,832	16,463	15,637	12,464	△ 3,173	54.1
(地 域 別)									
区 部	31,952	26,135	27,335	25,950	25,725	24,723	19,660	△ 5,063	85.4
市 部	4,364	3,663	3,719	3,734	3,660	3,562	3,369	△ 193	14.6
郡 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	10	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	36,306	29,798	31,054	29,684	29,385	28,285	23,029	△ 5,256	100.0

(3) 課程別生徒数〔上位5課程・男女別〕

生徒数の多い課程〔上位5課程〕を男女別にみると、男は「外国人学校」の6,008人が最も多く、次いで「外国語」、「予備校」、「料理」、「はり・きゅう・あんま」の順となった。女は「外国人学校」の5,706人が最も多く、次いで「外国語」、「料理」、「予備校」、「美術」の順となった。(表47、統計表9-2)

表47 男女別生徒数の多い課程(上位5課程)

(男)							
1位	外国人学校 5,269人	外国人学校 5,052人	外国人学校 5,733人	外国人学校 5,868人	外国人学校 6,005人	外国人学校 5,789人	外国人学校 6,008人
2位	予備校 4,961人	予備校 2,472人	予備校 2,218人	外国語 2,276人	外国語 2,216人	外国語 2,281人	外国語 1,125人
3位	外国語 2,534人	外国語 2,253人	外国語 1,738人	予備校 841人	予備校 768人	予備校 785人	予備校 734人
4位	はり・きゅう・あんま 260人	はり・きゅう・あんま 252人	はり・きゅう・あんま 245人	はり・きゅう・あんま 236人	はり・きゅう・あんま 216人	料理 224人	料理 236人
5位	料理 166人	料理 164人	料理 204人	料理 193人	料理 215人	はり・きゅう・あんま 220人	はり・きゅう・あんま 214人
	平成13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
(女)							
1位	外国語 5,873人	外国語 5,073人	外国人学校 5,546人	外国人学校 5,753人	外国人学校 5,778人	外国人学校 5,626人	外国人学校 5,706人
2位	外国人学校 5,186人	外国人学校 4,794人	外国語 5,200人	外国語 4,528人	外国語 4,457人	外国語 4,181人	外国語 2,251人
3位	予備校 2,224人	料理 1,171人	料理 1,100人	料理 1,088人	料理 1,115人	料理 1,009人	料理 951人
4位	料理 1,548人	予備校 990人	予備校 807人	予備校 522人	予備校 526人	予備校 559人	予備校 506人
5位	音楽 460人	音楽 449人	音楽 448人	音楽 458人	音楽 459人	音楽 422人	美術 422人
	平成13年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度

注) 課程の分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照のこと。

(4) 教員数

- ① 教員数は、3,377人で前年度より33人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が1,662人で前年度より19人増加し、兼務者は1,715人で52人減少した。また、教員数に占める兼務者の割合は50.8%となった。(表48、統計表9-1)

表48 教員数(本務者・兼務者)

(単位:人、%)

区 分	平成13年度	18	19	20	21	22	23	増減 (対前年度)	構 成 比
教 員 数	3,696	3,441	3,640	3,460	3,442	3,410	3,377	△ 33	100.0
本 務 者	1,613	1,468	1,636	1,603	1,658	1,643	1,662	19	49.2
兼 務 者	2,083	1,973	2,004	1,857	1,784	1,767	1,715	△ 52	50.8

【卒業後の状況調査】

1 中学校

表49 状況別卒業生数（中学校）

（単位：人、%、ポイント）

（1）卒業生数

平成23年3月の中学校卒業生は102,110人で前年度より3,572人減少した。

（表49、統計表10-1）

（2）卒業生の状況

- ① 高等学校等への進学者は100,149人で、前年度より3,409人減少した。
- ② 高等学校等への進学率は、98.1%で前年度より0.1ポイント上昇した。
- ③ 専修学校高等課程への進学者は400人で、前年度より11人減少した。
- ④ 専修学校一般課程等への入学者は174人で、前年度より40人減少した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は44人で前年度より2人増加した。
- ⑥ 就職率は0.4%で前年度と同率である。

（表49、統計表10-1）

区 分	平成22年 3月	平成23年 3月	増減 (対前年度)
総 数	105,682	102,110	△ 3,572
高等学校等進学者(A)	103,558	100,149	△ 3,409
専修学校（高等課程） 進 学 者（B）	411	400	△ 11
専修学校（一般課程） 等 入 学 者（C）	214	174	△ 40
公共職業能力開発施設 等 入 学 者（D）	42	44	2
就 職 者	409	309	△ 100
上 記 以 外 の 者	1,035	1,025	△ 10
不 詳 ・ 死 亡	13	9	△ 4
上記(A)～(D)のうち就 職している者（再掲）	56	54	△ 2
高等学校等進学率	98.0	98.1	0.1
就 職 率	0.4	0.4	0.0

注1) 「高等学校等進学者」には、中等教育学校後期課程本科、高等専門学校、特別支援学校高等部への進学者を含む。

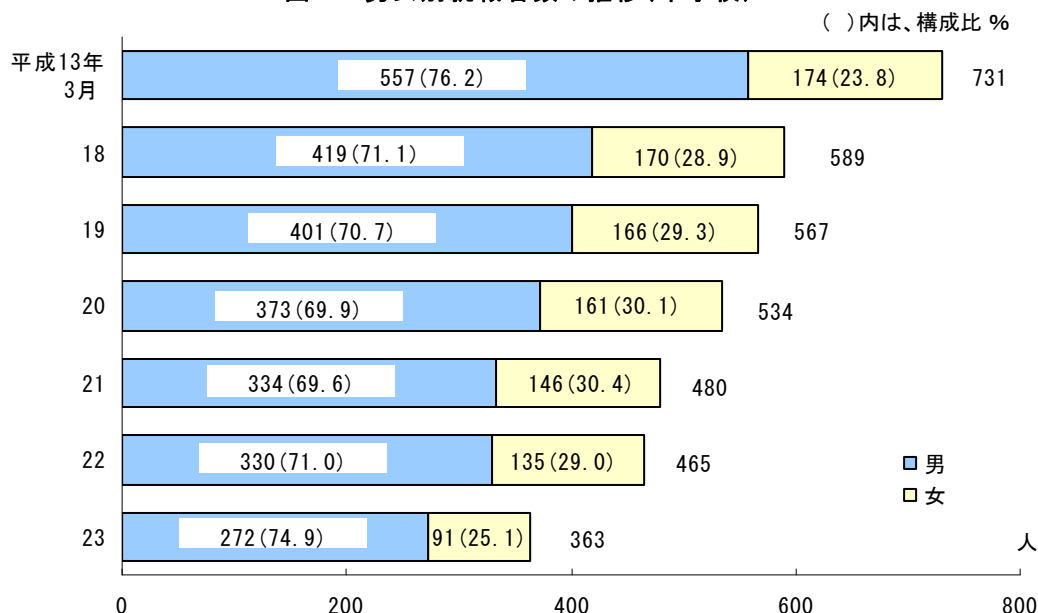
2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の高等学校に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

（3）就職状況

就職者総数は363人（就職者309人、進学しながら就職している者54人）で前年度より102人減少した。男女別の就職者数をみると、例年男が女を上回っている。

（図11、統計表10-1）

図11 男女別就職者数の推移（中学校）



2 高等学校（全日制・定時制）

表50 状況別卒業生数（高等学校）

（単位：人、%、ポイント）

（1）卒業生数

平成23年3月の高等学校卒業生は97,284人で、前年度より40人増加した。

（表50、統計表11-1）

（2）卒業生の状況

- ① 大学等への進学者は63,681人で、前年度より128人増加した。
- ② 大学等への進学率は65.5%で、前年度より0.1ポイント上昇し、調査開始以来過去最高となった。
- ③ 専修学校専門課程への進学者は11,043人で、前年度より970人増加した。また、進学率は11.4%で、前年度より1.0ポイント上昇した。
- ④ 専修学校一般課程等への入学者は6,745人で、前年度より618人減少した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は297人で、前年度より62人減少した。

（表50、統計表11-2）

区 分	平成22年 3月	平成23年 3月	増減 (対前年度)
総 数	97,244	97,284	40
大学等進学者(A)	63,553	63,681	128
うち大学学部	59,785	60,032	247
うち短期大学本科	3,650	3,556	△94
専修学校(専門課程) 進学者(B)	10,073	11,043	970
専修学校(一般課程) 等入学者(C)	7,363	6,745	△618
公共職業能力開発 施設等入学者(D)	359	297	△62
就 職 者	5,578	5,452	△126
一時的な仕事に 就いた者	1,301	1,297	△4
上記以外の者	9,010	8,765	△245
不詳・死亡	7	4	△3
上記(A)～(D)のうち就 職している者(再掲)	20	32	12
大学等進学率	65.4	65.5	0.1
専修学校(専門課程) 進学率	10.4	11.4	1.0
就職率	5.8	5.6	△0.2
一時的な仕事に就いた 者の割合	1.3	1.3	0.0

注1) 「大学等進学者」には、大学・短大の別科、高等学校専攻科、特別支援学校高等部専攻科への進学者を含む。

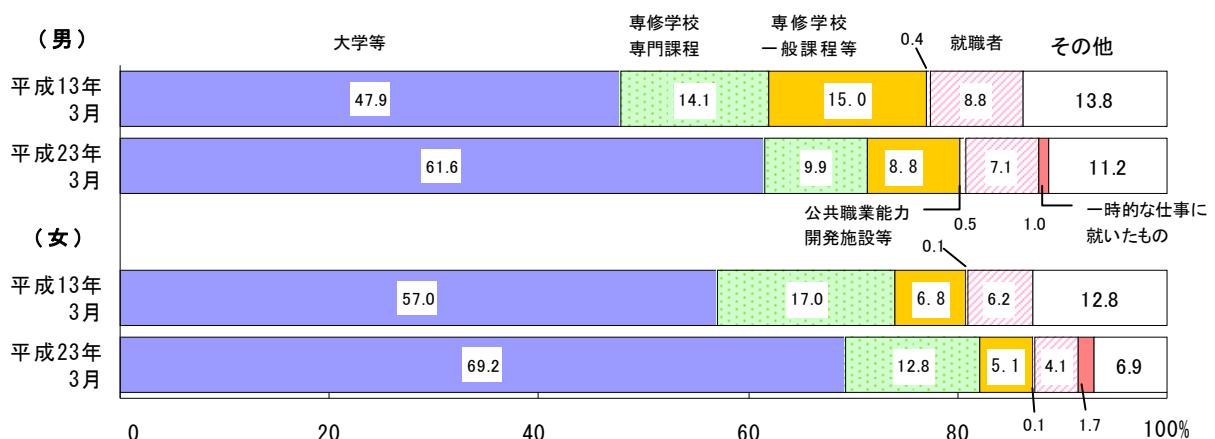
2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の大学等に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

（3）状況別卒業生の割合（10年前との比較）

状況別卒業生の割合を10年前と比較した場合、大学等への進学者が男女ともに上昇した。

（図12、統計表11-1）

図12 状況別卒業生の割合（10年前との比較）



注1) 「就職者」には、進学しながら就職している者を含まない。

2) 「一時的な仕事に就いた者」は、平成16年度調査から追加された。

(4) 就職状況

- ① 就職者総数は5,484人(就職者5,452人、進学しながら就職している者32人)で前年度より114人減少した。男女別では、男が3,417人、女が2,067人となった。
 - ② 就職率は5.6%で前年度より0.2ポイント低下した。男女別では、男が7.1%、女が4.2%となった。
 - ③ 職業別就職者数は、「生産工程従事者」が1,266人で就職者全体の23.1%と最も多く、次いで「サービス職業従事者」900人、「販売従事者」866人、「事務従事者」693人の順となった。
 - ④ 産業別就職者数は、「製造業」が1,261人で就職者全体の23.0%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」955人、「建設業」567人となった。
- (図13、14、統計表11-7、11-9、付表I3-1)

図13 職業別就職者数(平成23年3月)

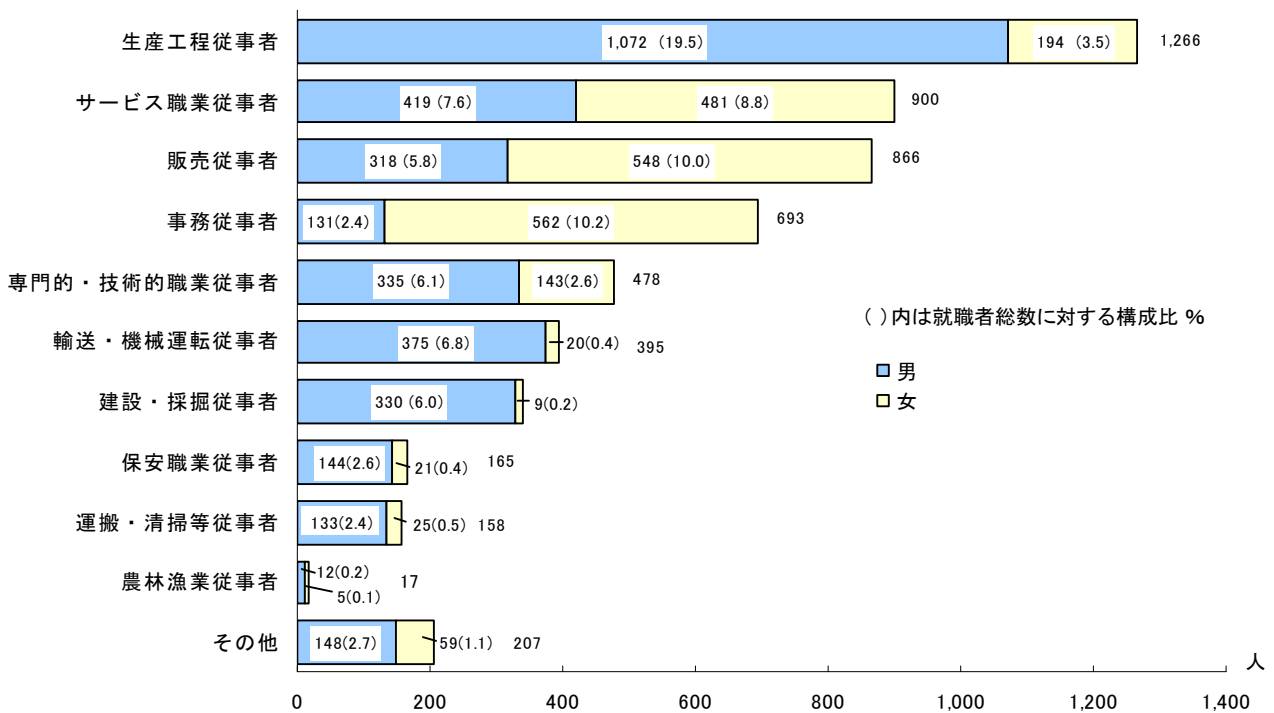


図14 産業別就職者数(平成23年3月)

